

整形外科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 関節リウマチ患者における遠位橈尺関節の形態と伸筋腱断裂の関連

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 河村 太介（整形外科・助教）

[研究の目的] 関節リウマチの患者さんで、手関節、中でも遠位橈尺関節の腫脹や関節破壊がある方では、同関節のそばを通る伸筋腱が断裂してしまうことがあります。伸筋腱の断裂は小指側に発生しやすく、放置すると複数の伸筋腱が断裂してしまうことがあります。伸筋腱が断裂すると指を伸ばすことが出来なくなり、手術以外の方法では治療できません。伸筋腱の断裂腱数が増えるに従いその治療成績は悪化することが知られています。そのため、伸筋腱断裂が生じる、あるいは他の指に波及するかの予測をすることができると、治療方針や治療時期の決定に大変有用です。過去に伸筋腱断裂が生じやすい骨形態の検討は行われていますが、骨の形態と腱断裂数の関連はいまだ十分解明されていません。本研究の目的は遠位橈尺関節の骨形態と伸筋腱断裂数の関連を、手関節単純 CT 画像を元に調査することです。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2009 年 10 月から 2017 年 10 月までの間に北海道大学病院整形外科にて、関節リウマチの診断で手関節疾患に対する手術治療を施行された患者さんで、手関節単純 CT を撮影された方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、罹患手関節、伸筋腱断裂数、画像（CT 検査）結果

[研究実施期間] 実施許可日～2019年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 河村 太介

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054